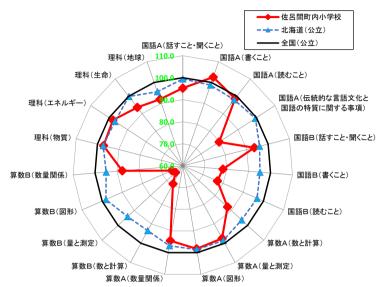
■佐呂間町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:37人)

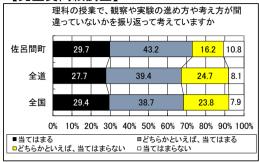
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

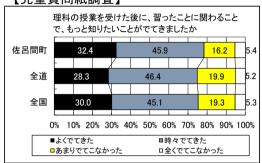
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



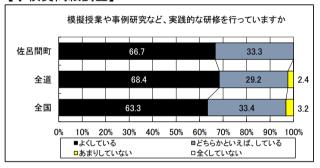
【児童質問紙調査】



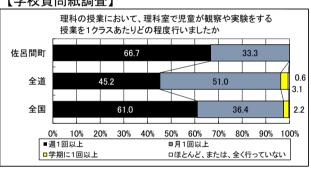
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

- 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 算数Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 0 科 教 0 理科では、「エネルギー」で全国に最も近くなって いる。 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が 間違っていないかを振り返って考えている」と回答 した児童の割合が、全国を上回っている。 児童質問紙 ○ 「理科の授業を受けた後に、習ったことに関わるこ とで、もっと知りたいことがでてきた」と回答した児 童の割合が、全国を上回っている。 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っ ている」と回答した学校の割合が、全国及び全道 を上回っている。 学校質問紙 「理科の授業において、理科室で児童が観察や実」 験をする授業を1クラスあたり週1回以上行った」と 回答した学校の割合が、全国を上回っている。
- 6 各学校の校内研修において、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行い教員の指導力向上を図ったことにより、自ら学習内容を振り返るなど、主体的に学びを深める児童の育成が図られたと考えられる。
-) 理科の授業において、観察や実験をとおして 自然の事物・現象についての問題を科学的 に解決する機会を日常的に設定したことによ り、児童の探究意欲の向上が図られたと考 えられる。

【佐呂間町の学力向上策】

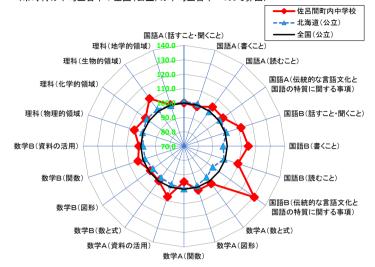
- ◎ 家庭学習の習慣化、長期休業中の補充的な学習サポートの実施、チャレンジテストの活用や学習規律の指導
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励、指導主事訪問、ICT環境の有効活用
- ◎ 学力を向上させるための小学校・中学校・高等学校間の連携強化

■佐呂間町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:39人)

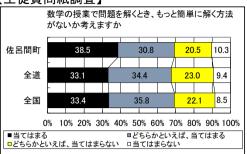
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

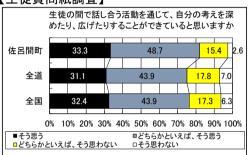
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



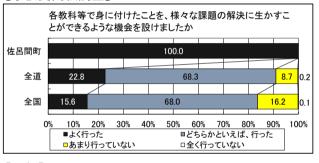
【生徒質問紙調査】



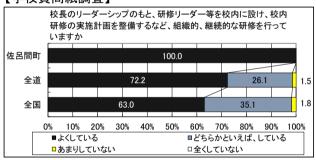
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

- 国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国! 語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で 全国を上回っている。 教 科 数学Aでは、「数と式」「図形」「資料の活用」、Bで は、「関数」「資料の活用」で全国を上回った。 理科では、全ての領域で全国を上回っている。 「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く 方法がないか考える」と回答した生徒の割合が、 全国を上回っている。 生徒質問紙 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを 深めたり、広げたりすることができている」と回答し た生徒の割合が、全国を上回っている。 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決 に生かすことができるような機会を設けた。 学校質問紙 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校 内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、 組織的、継続的な研修を行っている。
- 学校として学習で身に付けたことを活用し、 様々な課題を解決する機会を設けたことにより、生徒の探究意欲が醸成され、生徒は、簡 潔性や能率性などの「数学のよさ」を実感していると考えられる。
- 校内研修の充実を図り、学校として組織的、 継続的な授業改善の取組を進めたことにより、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分 の考えを深めたり、広げたりすることができて いると思う」と回答した生徒の割合が、全国を 上回るなど、主体的・対話的で深い学びの実 現が図られていると考えられる。

【佐呂間町の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化、長期休業中の補充的な学習サポートの実施、チャレンジテストの活用や学習規律の指導
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励、指導主事訪問、ICT環境の有効活用
- ◎ 学力を向上させるための小学校・中学校・高等学校間の連携強化